

Y 地域と連携した活動を報告 CKプロジェクト報告会が初開催

2月8日（水） 吉城高校

吉城高校と地域が連携して実施したYCK（吉高地域キラムキ）プロジェクトの各活動内容について、参加した生徒の代表が発表する報告会が2月8日、吉城高校で行われました。

YCKプロジェクトの4本の柱「地域観光」「地域福祉」「地域教育」「地域防災」ごとに計11人の生徒が報告を行い、課題解決能力を身につけるとともに、地域の未来を担う志に向けての意識を共有しました。

この日は、古川中学校の生徒や地域住民も参加し、生徒らの発表を聞きました。



生徒による発表の様子

ぎ アニメを活用した地域振興へ ふアニメ聖地連合が発足

2月3日（金） 岐阜市

アニメを活用して地域振興に取り組む岐阜県内の8つの自治体が連携し、アニメ聖地に関わる情報を共有しながら聖地巡礼者へのおもてなしの向上や魅力ある地域づくりを目的とした「ぎふアニメ聖地連合」の発足式が2月3日、岐阜市内のホテルで開かれました。

会長に選任された都竹市長は「聖地巡礼という新しいコンテンツツーリズムに対する地域課題の共有と、共に勉強する場を設け、各地域のおもてなしサービスの向上などに繋げていきたい。そして、ファンの方が何度も訪れたいような地域を岐阜県全体で築いていきたい」と話されました。



握手を交わす都竹市長と細江岐阜市長

文 廃材を利用したものづくり 部科学大臣賞に谷口さん(神岡中)が輝く

2月9日（木） 市長室

神岡中学校2年の谷口刀稀耶さん（14）が第17回全国中学校創造ものづくり教育フェア生徒作品コンクール技術部門で文部科学大臣賞を受賞し、2月9日、都竹市長に受賞報告を行いました。

谷口さんは、廃材を利用し、ネジやクギなどを用いるべく使用せず、「廃材の新たな命」と題した机を作成しました。「得意では無いけど、大工仕事が好きで、毎年木工作品を作っていた。木工所に勤務する祖父に少し教えてもらいながら、この机を作りました。受賞できて本当に嬉しいです。将来は建具の職人になりたい」と市長に喜びを伝えました。



賞状を手にする谷口さん（左）と都竹市長

児 古川小児童が糸魚川大規模火災へ義援金 童の思いを被災地へ

2月7日（火） ハートピア古川

古川小学校の福祉栽培委員会は、糸魚川大規模火災の復興に役立ててもらおうと、募金活動を行い集めた義援金を市（日本赤十字社飛騨市地区）へ届けました。

同校では、福祉栽培委員会が毎年行っているユニセフ募金と一緒に募金活動を行い、集まった募金のうち 50,000円を同委員会の中谷恭子さん、岡田千佳さんがハートピア古川を訪れ、柚原市民福祉部長へ手渡しました。

委員長の中谷さんは「この募金で家を無くした人にまた住めるようになってほしい」と話し、岡田さんは「早く元の生活に戻ってほしい」と話しました。



柚原市民福祉部長へ募金を手渡し児童

カムランド実験などを含む研究が最高評価

2月20日（月） 神岡町

文部科学省は今年度の新学術領域研究の中間評価を発表し、神岡でのカムランド実験を率いる東北大学の井上邦雄教授が代表を務める「宇宙の歴史をひもとく地下素粒子原子核研究」を唯一、最高評価としました。

研究は現在も続けられており、2月中旬には神岡町内で研究者約50名が集まり研究報告などが行われました。

この研究は神岡で行われている、それぞれの地下実験において重要な「極低放射能技術」を結集し、相互に連携し観測の精度を高めるために行われています。将来的にはビッグバンにより宇宙が誕生し、現在に至る過程を解明することが期待されています。



研究内容の冊子を手にする井上教授（流葉山荘にて）

地域ぐるみで山之村の自然を楽しむ

2月11日（土） 山之村小中学校

神岡町森茂の山之村小中学校で山之村校区雪上運動会が行われました。全校児童・生徒10人と地域住民ら合わせて約50人が参加し、クロスカントリースキーやそり遊び、雪像作りなどを楽しみました。

この運動会は地域住民と学校が一体となり、山之村の自然を楽しもうと、約10年前から毎年行われています。

グラウンドの積雪は約2㍍で、雪が舞う中、参加者はクロスカントリーのリレー競技や、雪上を走って旗を取り合うスノーフラッグなどを楽しみました。

また、今年の干支の「酉」をテーマにした雪像作りやそり遊びなども楽しみました。



スノーフラッグの様子

飛騨市の誇り「古川祭」を後世につなぐ

2月18日（土） 文化交流センター

昨年12月に国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録された7都市（岐阜県飛騨市、高山市、大垣市、富山県高岡市、魚津市、南砺市、石川県七尾市）の市長と祭保存会代表らが集まり、「飛騨越能 山・鉾・屋台連合フェスティバル」が開かれ、関係者や地域住民など約3000人が参加しました。

フェスティバルは、ユネスコに登録された近隣都市で祭文化などの交流を深め、一体となってさらに盛り上げようといわれ、古川祭の闘鶏楽のパフォーマンスを皮切りに各都市の代表がスピーチと映像などでそれぞれの祭を紹介しました。

古川祭保存会による古川祭の紹介では、獅子舞や付け太鼓、屋台のからくり人形などが披露され、会場を盛り上げました。

実行委員長の都竹市長は「ユネスコ登録を機に、近隣の方々と交流を深め、それぞれの祭りを後世に引き継いでいきたい」と話していました。

会場では、各都市の祭紹介や物販ブースが設けられたほか、古川祭の屋台に飾られる見送り展も行われ人気を集めました。



参加した各都市の代表ら



古川祭の付け太鼓も披露されました



飛騨市ホームページでもご覧いただけます

<http://www.city.hida.gifu.jp/>

飛騨市

検索

君 飛騨と各地を結ぶ の名は。x飛騨市ラッピングバス公開

2月27日（月） 市役所

市は、大ヒットアニメ映画「君の名は。」の名場面などをラッピングした高速バスを公開し、2月27日にはお披露目式を行いました。

車両は左右側面と後部がラッピングされ、同映画の名場面やキャラクター、JR飛騨古川駅などが描かれています。

都竹市長は「素晴らしいバスに仕上がった。ファンの皆さんに楽しんでいただけたらと思う。ぜひこのバスに乗って飛騨市に来ていただきたい」と話していました。

このバスは来年3月末まで新宿、名古屋、岐阜、大阪の4路線で運行されます。



お披露目されたバスと関係者

飛 商売繁盛や家内安全を願って 騨神岡初金毘羅宵祭

2月25日（土） 神岡町

神岡町市街地で商売繁盛、家内安全を祈願する冬の風物詩「初金毘羅宵祭」が行われました。

この祭りは、昭和29年に江戸消防記念会より江戸木遣唄の伝授を受けた際、洞雲寺に記念額が献納されたのを記念し、木遣りの指導を受けた当時の消防団員らが記念額を積んだ山車を先頭に行列したのが始まりと云われています。

この日は、地元企業や商店会、同級会やサークル団体などの17団体が参加。四国の金刀比羅宮から持ち帰ったお札を先頭に、創作山車やパフォーマンスを繰り広げながら、金毘羅堂がある洞雲寺を目指して約2キロを練り歩きました。



街中では山車行列やパフォーマンスが行われました

全 長年の功績をたたえる 国公平委員会連合会表彰伝達式

2月28日（火） 市長室

公平委員を16年務められた古川町の井端清秀さんが、全国公平委員会連合会表彰を受け、2月28日には都竹市長から表彰伝達が行われました。

井端さんは平成12年4月から今日まで、公平委員会委員、委員長として活動され、平成23年には公平委員会制度60周年記念総務大臣表彰を受賞されるなど、委員会の適正かつ公平な運営に尽力されています。今回の表彰は、この功績が評価されたことによるものです。

井端さんは「公平委員としての活動は、自分にとってよい経験になりました」と話していました。



賞状を手にする井端さん（左）と都竹市長

み 約300人が雪と親しむ やがわ親雪まつり

2月25日（土） 宮川町

飛騨まんが王国で「第27回みやがわ親雪まつり」が行われ、町内外から約300人の来場者が訪れ雪遊びやバザーを楽しみ、雪と親しみました。

会場では、スノーモービルの乗車体験やスノーストラックアウトなどのアトラクションのほか、地元の青年らによるバンド演奏も行われました。夕方になると、会場は約450個のキャンドルが点灯され、会場を優しい光で包み込みました。

イベントの最後には、約300発の打ち上げ花火が行われ、冬の夜空を鮮やかに彩りました。



オープニングで行われたキャンドル点灯の様子